

第10回川西市中心市街地活性化協議会議事録要旨

- ◇日時 平成21年6月29日 13:00～14:30
- ◇場所 パルティK2北川西「P・ステージ」
- ◇議題 議題1:平成20年度活動報告について
議題2:平成20年度決算報告について
議題3:役員改選について
議題4:平成21年度活動予定(案)について
議題5:平成21年度協議会予算(案)について

<議題1・2:平成20年度活動報告、平成20年度決算報告について>

・全会一致で承認。

<議題3:役員改選について>

・全会一致で承認。

<議題4:平成21年度活動予定(案)について>

・全会一致で承認。

<議題5:平成21年度協議会予算(案)について>

・全会一致で承認。(案)をとり、平成21年度予算として執行。

以下に、各議題における主な意見を示す。

< 議題1 >

< 委員 > ・20代30代の若者に、起業ニーズが見られる。駅周辺西側は人の往来が多く、東側は藤の木通りなどがきれいに整備されているが、駅近な物件ほど家賃が高くなり、資金力のない若者の出店は困難になる。若者の出店を支援する仕組みを事務局で検討してほしい。

< 事務局 > ・起業に対する支援策についても、今後事務局で検討したい。

< 委員 > ・今回新たに実行部隊を構成し、活性化への取組みを進めることとされているが、これはこれまでの基本計画(案)に示された事業に限定して取り組むものという理解で良いのか。

< 事務局 > ・これまで基本計画に位置づけてきた36事業においても、時代の流れの中で変化するものと考えている。新たに示した取組み案は、現時点における基本計画(案)をベースとした修正案である。修正の際には、協議会に諮りたい。

< 委員 > ・昨年度報告書のp38に記載されている空き店舗の活用策は参考になる。このようなことは推進していただきたい。

< 議題4 >

< 委員 > ・今回新たに提案された“にぎわいプロジェクトイベントの実施”や“まちなにぎわいセンターの設置”、“にぎわいプロジェクトのNPO法人化”等は必要な取組みであると思うが、そもそもこの活性化協議会は、中心市街地活性化基本計画に関するテーマを協議する場である。まずは、基本計画の策定状況等について説明していただきたい。

(その他(報告事項)で説明する内容であったが、前倒しで説明。)

< 事務局 > ・現在全国的な状況として、75都市77地区で基本計画が認定されている。川西市においても、大臣認定申請の調整を行っているが、このうち国費支援について現在は、老朽化した商業ビルのリフレッシュ化に向け、近畿経済産業局との調整を行っている。しかし、同事業の支援を受けた事例において、まちづくり会社が倒産したケースもあり、同様の状況に陥らないよう、近畿経済産業局から採算性の確認や返済計画のシミュレーションを求められており、対応・調整しているところである。基本計画(案)において、日常的な賑わいの創出に向けた取組みへの指摘も内閣官房から受けているが、これは最終段階であるため、今年11月の認定を受けられるように調整を進めている。

・基本計画の認定に向けては、地域住民等が主体的に動かなければいけない。推進体制についても、早い段階で確立できるよう取り組みたい。なお、既にまちなみマップの作成に着手している。今後は近隣の大学生などにも声をかけながら、様々なシリーズのマップの作成等を手掛けていきたい。

< 委員 > ・協議会委員にも基本計画は提示していただけるのか。

< 事務局 > ・内閣官房との間で調整が終了し、内諾を得たタイミングで、基本計画を提示したい。

< 委員 > ・基本計画の策定後の変更はできるのか。

< 事務局 > ・認定基本計画の変更は可能である。実際、変更申請を行っている自治体も見られる。